平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 熊本県 】

| 1実践テーマ | |
|--------|---|
| 2実施対象者 | 菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校 |
| | 講話・・・全学年(12学級) 実技指導・・・6学年(2クラス) |
| | 406人 69人 |
| 3展開の形式 | (1) 学校における活動 |
| | ① 教科名(道徳・体育) |
| | ② 行事名(オリ・パラ講演会 , 体験授業) |
| | ③ その他 () |
| | (2) 地域における活動 |
| | ① イベント名() |
| | ② その他 () |
| 4 目標 | ・オリンピアンの講話を聞き、努力することや、あきらめない心を持ち続けることを、これからの自分の生活に活かしていこうとする。 |
| (ねらい) | ・オリンピアンの実技指導により、走ることの基礎運動を体験し、身 |
| | 体を動かすことの楽しさを味わう。 |
| 5 取組内容 | 事前指導 |
| | 昨年度のオリンピック、パラリンピックの学びを基に、オリンピ |
| | アンの川上優子さんについてや、陸上競技(10.000M)に |
| | しいてVTR等を観て知る。 |
| | 当日の学び |
| | 努力することの素晴らしさを知り、来月予定の「持久走記録会」 |
| | に向けて個々の児童が、頑張ろうと思う機会とする。 |
| | • 6学年 |
| | 川上優子さんとスポーツで大切な「バランス」「リズム」「タイミ |
| | ング」を実践の中で体験し、走りの基礎や楽しさを味わう。 |
| | 事後指導 |
| | ・講話や体験したことから学んだことを感想にまとめる。・12月7日に行われる持久走記録会を、「武北オリンピック |
| | 20018~昨日の自分に勝つ!~」とテーマを決め、それまで |
| | の取組も目標タイムを毎回記入し、目標タイムを超えられるよう |
| | に意識した。 |
| | • 「持久走記録会」の実施 |
| | |
| | |
| | |

| 6 主な成果 | 夢を叶えていくために努力をして、大舞台に立ち世界中から注目されておられる方からの講話や実技指導により、高学年では、日頃の生活の仕方を見直したり、努力することの大切さを改めて感じることができた。 2週間後にあった「持久走記録会」では実技指導で学んだ「バランス」「リズム」「タイミング」や「最後まであきらめない」「自分に勝つ」という言葉や実践を思い出し、参加者全員ゴールまで走り通した。また、練習よりタイムが上がった児童は各学年とも9割以上で平均20秒ほど速まっている。また、これまで「持久走記録会」の参加をしなかった児童が始めて参加をし、充実感を得た。 事後指導の感想の中には、「オリ・パラムーブメント事業」を今後も続けてほしい(いろんな人の実技指導を受けたい)と、身体を動かすことの楽しさを味わうことができた。また、苦しくても最後まで頑張り通すことで、後から味わう達成感が心地よいものであることに気づき、「他のことでも頑張ってみよう」という思いを持った児童も多くいた。 |
|----------------|--|
| 7実践におい | ただの講演に終わらず、児童がこの機会で学んだことを、学校行事 |
| て工夫した点 | につなげていけるようにするため、体育の授業での実技指導をして |
| (事業の特色) | いただいた。また、講演前には交流給食の時間を設け、6学年とオ |
| (3)(3) 13 (3) | リンピアンがうち解けて、心も和み、その後の活動が児童にとって |
| | 楽しくできるようにした。 |
| 8主な課題等 | 授業の教科の時数に限りがあり、なかなかじっくりとこの事業のた |
| | めに時間をかけることができない。 |
| | ・滅多にない機会と思い、全校児童に講演を聞かせたいと計画を立て |
| | たが、小学校低学年から高学年全員にわかる講話にするには、少し |
| | 課題を感じた。 |
| 9来年度以降 | ・実際に世界の大舞台に立たれた方々の話には、説得力があり、それ |
| の実施予定 | までの生き方にドラマがある。これからいろいろな人生を歩み、多 |
| | くの壁にあたるであろう子どもたちにとって、テレビの画面や本に |
| | 出てくる方々を身近に感じ、自分の今の生活を見直し目標をもって |
| | 学校生活を送ってくれるであろう。その為に、自分自身を見つめる |
| | 機会、そして2020年の東京オリンピックに関心を持ち、大会を |
| | 盛り上げていく一人となってくれるよう、来年度も本校での実施を |
| | お願いしたい。 |